

個別事業計画書

所管部署：農林商工部 農林整備課

(単位:千円)

事業名	農地整備促進事業		細事業名		新継区分	継 続	
総合振興計画の位置づけ	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る		根拠法令等	南丹市農業振興事業補助金交付要綱			
	1 豊かな緑と清流を守る			南丹市土地改良事業分担金徴収条例			
	(2)農地			農地漁村活性化のための定住及び地域間交流の促進に関する法律			
事業実施期間	平成 20 年度 ～ 平成 22 年度		年度	当該年度における事業の実施内容	当該年度に目指す成果・効果	事業費	
現状の課題	狭小で不整形な農地が集合し、農道幅員も狭く用排水路が不完全な農地では、大型機器の搬入出等も難しく、効率的な農作業が図れていない状況であり、効率的な農作業が行える環境整備が求められている。		各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費	平成 20 年度	団体営ほ場整備事業の実施 小規模農業基盤整備事業の実施 土地改良施設維持管理適正化事業への支援 府営ほ場整備事業の推進 森林総合研究所営農用地総合整備事業の推進 農家組合等への農道補修用材料の支援及び農道舗装の助成	農地等の基盤整備により、安定した農業生産基盤が確立できるとともに、施設管理者の意識高揚が図れ、施設の適切な機能保持と耐用年数の延長を図る。	281,180
具体的な実施内容	面的整備を含めた、土地改良施設の総合的な整備を行う。			平成 21 年度	老朽ため池整備事業の実施 中山間地域総合整備事業の実施 小規模農業基盤整備事業の実施 団体営ほ場整備事業の実施 府営ほ場整備事業の推進 森林総合研究所営農用地総合整備事業の推進 農家組合等への農道補修用材料の支援及び農道舗装の助成	農地等の基盤整備により、安定した農業生産基盤が確立できるとともに、施設管理者の意識高揚が図れ、施設の適切な機能保持と耐用年数の延長を図る。	529,015
事業の目的	ほ場の整備、農業用道路、用排水路など農業生産の基盤を整備することにより、次代へつなげる農業振興と農業の活性化が図れる。			平成 22 年度	老朽ため池整備事業の実施 中山間地域総合整備事業の実施 小規模農業基盤整備事業の実施 団体営ほ場整備事業の実施 府営ほ場整備事業の推進 農家組合等への農道補修用材料の支援及び農道舗装の助成	農地等の基盤整備により、安定した農業生産基盤が確立できるとともに、施設管理者の意識高揚が図れ、施設の適切な機能保持と耐用年数の延長を図る。	216,008
事業の効果	土地改良施設の維持管理に伴う経費及び労力の削減を図るとともに、安定した農業経営の基礎を築くことができる。						